

本庄高等学校創立百周年に向かって

みなさんこんにちは同窓会長の狩野
輝昭でございます。

いつも同窓会の皆様方にご協力頂き
ありがとうございます。心より感謝を
申し上げます。

前回の柏陵にも書かせて頂きましたが、2022年は歴史と伝統有る本庄高校の創立百周年記念にあたります。我が母校の卒業生は多士済々で、日本全国で、ご活躍された方を輩出しておりますし、現在も大活躍されている方々が、沢山おります。今は私学が隆盛ですが、我が母校は今も昔も、公立高校として、県北の雄として健在でございます。公立高校の合併や廃校を見聞きするたびに、本庄高校は歴史を積み重ね、百周年を迎えることが出来ます事は喜びに堪えません。心より同窓生の皆様と一緒に喜ぶところでございます。

百周年記念事業として、後輩のためにトレーニング機器を贈呈し、文武両道を目指す母校に送りたいと思います。ご寄付頂いた方は百周年記念誌と百周

年記念碑にご芳名を
記載し末永く感謝の
気持ちを残したく思
います。

また、学校のご厚意により、いつでもお出で頂ける同窓会の部屋を用意することが出来ます。この同窓会室は歴史ある伝統校の思い出の品(絵画・書・優勝カップ)などを陳列させて頂きたいと思ひます。

第9代同窓会長

狩野 輝昭

昭和41年卒

(高18回)

皆様方のご寄付を仰ぎ、立派な百周年事業を完成させたく思います。地域社会に本庄高校ここに有り、をお示ししたいと思います。なお、事業後の剰余金につきましては本庄高校の育英資金に繰り入れさせて頂き、後輩のために活用したいと思います。今までの本庄高校の歴史と今後の本庄高校の歴史の為、絶大なるご協力をお願い申し上げます。



第9代同窓会長
狩野 輝昭
昭和41年卒
(高18回)



柏陵

題 字
相川徳平（昭和2年卒）
発行
埼玉縣立本庄高等學校同窓会
会長 狩 野 輝 昭
事務所 〒367-0045
本庄市柏1丁目4番1号
（本庄高等学校内）
TEL070-1370-2257
E-mail:hakuryo@honko-dosokai.jp
HP http://honko-dosokai.jp/
印刷 （有）本庄孔版社

令和二年度 顧問・評議員・本部役員・支部長

[illegible]

同窓会サポート企業
SALAT
株式会社サラト

■本社
兵庫県姫路市北条宮の町 172
〒670-0948
TEL:079-284-1380

■東京支社
東京都台東区台東4-18-7
シモジンビル5F
〒110-0016
TEL:03-3832-6381

<http://www.salat.co.jp>

昭47	昭48	昭50	昭52	昭57	昭61	昭62	平11	平26	平26	平27	平27	平27	平28	平28	平29	平29	平29	平30	平30	平31	平31	合2	合2
巴 高志	伊与田一雄	埴岡 正人	茂井 聡	齋藤 義幸	高橋 大天	猪野塚伊彦(さいたま市)	丸山翔太郎	淵澤 峻平	大村 祥平	淵澤 至真	加川 卓斗	岩本 透真	高橋乃里佳	水野 駿	蛭川和花子	遠藤 凜乃	福島 未久	小暮 俊矢	堀川 航輔	柳 誠也	坂本 颯汰		
(本庄市)	(本庄市)	(本庄市)	(本庄市)	(深谷市)	(本庄市)		(上里町)	(上里町)	(熊谷市)	(上里町)	(上里町)	(上里町)	(上里町)	(深谷市)	(深谷市)	(本庄市)	(本庄市)	(深谷市)	(本庄市)	(深谷市)	(深谷市)		

(昭・平の数字は卒業年です)

創立百周年に向けて

本庄高等学校は、大正11年に地域の皆様の熱い要望により埼玉県立本庄中学校として創立され、令和4年度を持ちまして創立百周年を迎えることとなりました。この間、多くの有意な人材を世に送り出し、平成25年度からは「進学重視型単位制高校」に移行し、地域の期待と信頼に応えてまいりました。

同窓会では、こうした学校の活動を支援し、地域社会はもとより世界で活躍する優秀な人材を輩出するため、母校の発展と生徒の活動の支援に努めてまいりましたが、記念すべき「創立百周年」を迎えるにあたり、同窓会・PTA・後援会の三者で創立百周年実行委員会を立ち上げ、記念事業を令和4年に向けて推進します。

実行委員会は記念式典準備部会・記念誌編集部会・記念事業準備部会・募金対策部会の4部会で組織され、今年度から記念事業を実施するための募金活動を開始しますので、新型コロナウイルス感染症で厳しい経済状況のもと誠に恐縮ではございますが、同窓生の皆様の深いご理解とご支援をいただき、母校である本庄高等学校の更なる発展のために、本事業が達成されますよう何卒ご協力をお願い申し上げます。

募金目標額 5,000万円

- 記念事業
- (1) 創立百周年記念式典
 - (2) トレーニング機材の整備
 - (3) 同窓会室(仮称)の整備
 - (4) 創立百周年記念誌の刊行
 - (5) 創立百周年記念石碑
 - (6) 同窓会名簿の再発行

募金活動につきましては、来春早々に同窓生の皆様に趣意書で正式にご案内しますので一口1万円で出来れば2口以上のご寄付をいただければ、滞りなく記念事業が実施できますので、ご協力をよろしくお願い致します。

募金対策部会長 柿木左近(同窓会副会長)

創立百周年寄付口座開設!

埼玉縣信用金庫本庄支店

普通 1651487

口座名 県立本庄高校創立百周年実行委員会

埼玉りそな銀行本庄支店

普通 5015588

口座名 埼玉県立本庄高等学校創立百周年
実行委員会

ゆうちょ銀行口座を開設中

百周年は2022年ですので、皆さん宜しくお願いします。

所得税 法人税 相続税 消費税等 申告代理 相談

小暮隆史税理士事務所

税理士 小暮 隆史(高17回卒)

〒366-0001 深谷市中瀬112

TEL 048-587-2416 FAX 048-587-2254

株式会社みき電気

電気設備設計施工
電気引込線工事委託店
ISO9001認証取得

事業内容

- 公共事業各種電気工事
- 老人福祉施設電気工事
- 住宅配線電気設備工事
- 店舗配線工事
- 公園内各種付帯電気設備工事
- 各種工場電気設備工事 など



代表取締役 新井弘行

(平成元年卒・高41回)

〒367-0204 埼玉県本庄市児玉町鉦川399-1 TEL: 0495-72-0274



施工例 本庄甲稲田駅前 追光式太陽光発電設備

クリニック版電子カルテ

イー・ジー・カルテ Web2.0

2015年購入医師による評価日本一!



グローバルソフトウェア

医療システム開発、通信システム開発・検証

代表取締役 会長 狩野 輝昭

(昭和41年卒・高18回)

〒367-0044 埼玉県本庄市見福三丁目11番10号

TEL: 0495-22-0001

FAX: 0495-24-3380

新車・中古車販売/総合整備センター/保険代理店

創業 53年 (株)モリムラ自動車



ニコット



代表取締役 森村 俊行

(昭和61年卒・高38回)

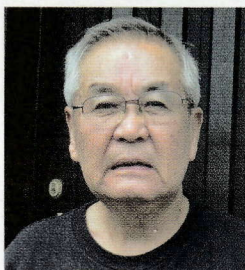
〒369-0305 埼玉県児玉郡上里町神保原町841-1

tel: 0495-33-3181 fax: 0495-33-2407

活躍する同窓生

若者よ、よく遊びよく学べ！

坂上重次郎 さん（高12回卒学年支部長）



今は亡き私の義父は、本中を昭和5年に卒業した同窓生でした。

戦前の先輩たちの多くは、戦場に駆り出され余多の有能な人材が戦死していることを、私たちは忘れてはならないと思います。

戦後は、貧しさとの闘いでした。私は、昭和35年の卒業ですがその当時ですら8クラスの中で「進学組」は2クラスという有様でした。

今は大学進学が当たり前となり、まさに隔世の感があります。

これもひとえに、戦後75年にわたり日本が平和であったればこそその成果だと思います。これからの若者たちに、この平和をかみしめてよく遊びよく学ぶことを願っています。

世界と共にあれ

栗原 健昇 さん（高13回卒熊谷支部長）



一年生に入学して間もない頃、同じ学年の吉岡弘君が水泳100M自由形で県大会でいきなり優勝するニュースが飛び込んで来た。その後、なん種目も優勝し、国体にも連続出場した。体操では常木茂君が三年時、県体個人総合優勝、国体、インターハイ

にも出場した。

二年の時、私は校内弁論大会に参加した。それから私は演説大好き青年となる。

進学面では、京大、東大合格者も出た。

新型コロナ後の世界は激変するだろう。文武両道を実践し、世界に羽ばたく志を持った人材の育成を掲げる本庄高校。

青春の時 望む栄光 ああわれらの本庄

世界と共にあれ！

母校への思い

内田廣治 さん（高18回卒学年支部長）



高18回卒業の我々は戦後のベビーブーム生まれで 団塊の世代と呼ばれている。人数が多いもので節目節目で話題になるのである。

校庭に桜が咲いている日の、本高入学式。1クラス57人で10クラス教室が足りず広い視聴覚教室をつぶしての学級編成。

高校に入り新鮮な行事がいっぱい文化祭、修学旅行、応援団活動等々。それに東京オリンピックにも連れて行って貰えたまさに良きに悪しきにつけ、青春の一ページを飾ったものである。

そこに再来年、伝統と誇りのある本庄高校が百周年を迎えようとしている。この節目の記念行事に携えるのも何かの縁を感じる。

多くの仲間へ声掛けをし成功裏に終えるよう活動していきたいと思っている。

高校生活の思い出

巴 高志 さん（高24回卒学年支部長）



巴家の祖先は、本庄高校がまだ女学校の頃農場をしており、高校の記念誌にはその当時の写真と記述が残っています。この歴史ある本庄高等学校に私が入学できたことにも御縁を感じました。

クラブ活動では、吹奏楽部（ブラスバンド）に属し、3年生の時はクラブの部長を務めさせて頂きました。

そして、生徒会活動では、制服の自由化に取り組みました。1年間、授業終了後に会議を開き、全校集会を開催して何とか3年生の終了間際に制服の自由化が決定しました。このような思い出のなかで私の高校生活は充実して良い思い出になりました。

同窓会ゴルフコンペ中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染対応として
第4回ゴルフコンペを中止します。

犬伏山
清 福 寺

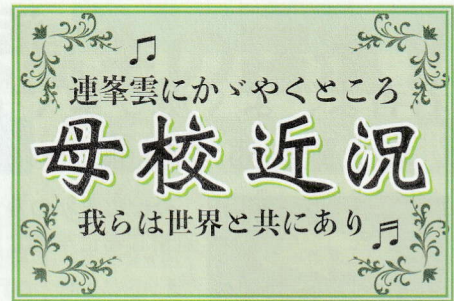
住 職
同窓会顧問 塩原 宥暁
元本庄市教育長（昭和28年卒・高5回）

〒367-0031 本庄市北堀1527
TEL 0495-22-3761

明るい社会づくり運動
埼玉県協議会

会長 加藤 玄静

（昭和37年3月卒・高14回）



全日制近況

全日制教頭 小茂田佳郁

3月

新型コロナウイルス感染症の流行により、二日から二十四日まで、学校は臨時休業となりました。そんな中、十二日、第七十二回卒業式が挙行され、教職員が卒業生325名を、心を込めて送り出しました。例年行っていた同窓会の入会式も行えず、書面で同窓会の紹介と入会の連絡を卒業生に行いました。

一・二年生は二十四日に時差登校し、通知表を受け取り休業中の課題等について連絡をしました。

春休みも含み、臨時休業中に部活動は一切できませんでした。

4月

臨時休業は十二日まで延長、その後さらに五月六日まで再延長されました。

5月

さらに臨時休業が五月三十一日まで延長され、六月一日からの再開を目指すこととなりました。

四月後半から、登校日を設けることもできなくなり、生徒の学習支援として、ホームページに各教科の課題を掲載、さらに、生徒の学習をサポートするため、講義の模様を動画で撮影し、アップすることを始めました。最終的には、約400本の授業動画をアップしました。

また、各担任は、クラスの生徒全員に電話連絡をし、健康状態や学習の悩みなどを聞き取りました。学校再開への準備登校として、生徒は二十五日から二十九日の間に一日登校し、担任と個人面談を行いました。



第75回入学式



授業動画

7月

中止となった三者面談の代わりに、各担任は空き時間に生徒と個人面談を行い、生活や学習の悩み、来年度の科目選択、卒業後の進路について真剣に相談していました。

一学期に予定されていた、新歓ハイクや部活動の大会、はいずれも中止となり、体育祭は九月後半に延期となりました。

一方、臨時休業期間の授業の遅れを取り戻すため、七月三十一日まで一学期の授業を延長、各行事を中止し、三十一日まで授業を行いました。

8月

夏休みは、二十三日までの三週間に短縮されましたが、感染防止に配慮しつつ、部活動や夏季補習は通常通り実施しました。

土曜授業の午後に行う特進クラス生徒対象の「スーパージョー」は、遅れを取り戻すため、夏休み中は毎週実施しました。

例年、同窓会から支援金をいただいているオーストラリアへの国際交流プログラムは中止となりました。

9月

文化祭は中止となりましたが、各運動部活動の大会が始まり、それぞれ感染症対策には十分注意した中で実施されています。

国際交流プログラムの代わりに、姉妹校エッセンド

進路指導室から

進路指導主事 坂上 幸男

一 近況

まずは、二学期の進路行事の概要についてお知らせします。今年度の二学期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ほとんどの進路行事は中止とせざるを得ませんでした。大学入試の模擬試験もベネッセ、河合塾とも大会場での実施はありませんでした。本校を会場にして実施できるものはなるべく実施しました。三年生は、外部会場が軒並み中止になっている分、例年より多くの生徒が学校で模擬試験を受験しました。

やと実施に漕ぎつけた今年度初めての大きな進路行事は、十一月二日に予定している二年次生対象の「大学分野別説明会」です。外部から講師を招き、十六室に分かれて行います。新型コロナウイルス感染症の対策を十分に施しつつ実施します。

三年次ですが、指定校推薦の第一次・二次の校内選考行われました。大学98名、短大3名、専門学校7名の計108名が校内選考を通過しました。指定校推薦の希望者は昨年度とほぼ同数でした。実際の推薦入試の出願は一月以降で、これから生徒は、願書や志願理由書作成、面接練習等で忙しくなることと思います。

過去5年間の進路推移

	平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		令和2年	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
国公立4年制大学	16	3	17	1	20	3	11	1	8	4
私立4年制大学	200	15	191	10	210	10	210	7	212	9
国公立短期大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立短期大学	9	0	22	0	20	0	19	0	17	0
専修・専門学校	54	3	54	0	44	2	52	0	62	0
公務員・就職	8	1	6	1	10	1	2	6	4	0
卒業生数 (浪人は決定者)	322	—	314	—	328	—	327	—	325	—
4年制大学進学者	216	18	208	11	230	13	221	8	220	13
4年制大学進学率	67.1%	—	68.4%	—	70.1%	—	67.6%	—	67.7%	—
浪人他	30	—	24	—	20	—	30	—	22	—
浪人率	9.3%	—	7.6%	—	6.2%	—	9.2%	—	6.8%	—

はされるものの、模擬試験の傾向を見る限り、センター試験と比べて大幅な変更はないと予想されます。大学入試改革の二つの目玉であった「英語民間試験」の活用も昨年十一月文部科学省発表のとおり「見送り」となりました。今年度は予想さえないなかった新型コロナウイルス感染症の影響で一学期は軒並み検定試験が中止されており、もし

定時制近況

定時制教頭 小関 満

定時制は昭和二十三年開学し、今年で七十二年目となりました。令和二年度、

八日には、新入生と教職員のみで第七十五回入学式が挙行され、322名の新入生を迎え、全日制は971名の生徒で令和2年度が始まりました。

新入生の保護者の皆様には、入学式の模様を映像と音声でライブ配信し、保護者控室でご覧いただきました。

四月中、学年をさらに半分に分け、時差登校日を3日設けて、生徒の健康観察や課題を指示して、学習支援を行いました。

一日から学校は再開されましたが、一週目は、クラスを半分に分け、週一日の分散登校、二・三週目は、週2から三日の分散登校としました。

二十二日から通常登校を開始しましたが、毎朝の検温や手洗い・手指の消毒、換気やマスクの着用などの感染症対策を徹底しながらの再開です。

部活動も、活動時間や回数を制限した中での再開となりました。



オンライン交流

ン・キロー・カレッジの授業に生徒7名が参加するオンライン交流を九日、十五日、十七日の三日間行いました。最初、緊張していた生徒たちも、三回目には、積極的になり、身振り手振りを交え、楽しそうに英語で交流していました。

二 大学入試改革

また、大学入学共通テストの出願指導も行いました。今年度は144名が出願しました。これは昨年度のセンター試験出願者数と同数です。

今年度、初めての「大学入学共通テスト」が実施されます。大きな変更になるはずだった国語と数学の「記述式導入」は昨年十二月、文部科学省発表の通り「中止」が決定されました。問題の傾向は「思考力・判断力」を見られるよう変更

ると思います。

本庄高校に学ぶ生徒たちは「無限の可能性と輝き」を持った生徒たちばかりです。毎日悩み苦しみながらも、なりたい自分になるために、自信をもって意欲的に活動し、成長してくれています。

「停滞」することは「後退」すること。私たち教職員は、そうした「歴史と伝統」に恥じない教育活動を展開して、着実に前進させるよう取り組んでまいります。同窓生の皆様におかれましては、盛大にかつ誇り高く「創立百周年」が迎えらるよう、そして、本庄高校が更なる飛躍を遂げられるよう、引き続き生徒の活動を、また、学校の教育活動をご支援賜りますようお願い申し上げます。

本庄高校が「百年の歴史」を刻むことができたのは、地域の皆様の期待に応える教育活動を展開し、本校を巣立った多くの卒業生が、社会に有意な人材として活躍してこられたからであり、また、地域の皆様に愛され、支援されてきたからだと思います。したがって、母校の「百年の歴史と伝統」は、同窓生の皆さんにとつては極めて「名譽」なことであり、「誇り」である

と思います。

創立百周年

更なる飛躍を

校長 平川充保



同窓会の皆様には、日頃から学校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、四月、五月の二か月を「臨時休業」とし、六月から段階的に授業を開始するという、これまでに経験したことのない異例のスタートと

なりました。学校ではこの間、生徒に計画的に学習課題を提示してきたほか、約四〇〇本にも及ぶ「授業動画」を配信して、学習支援に努めてまいりました。

現在も「新型コロナウイルス感染症」の収束が見通せない中ですが、できる限りの感染症対策に取り組む、危機管理を徹底しながら、教育活動を進めてまいりたいと考えております。同窓会の皆様には、今後も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本校は今年で創立九十八年目となりました。令和四年には「創立百周年」を迎え、十一月十九

日に「本庄市民文化会館」を会場に「創立百周年記念式典」を盛大に挙行する予定です。狩野同窓会長を委員長とする実行委員会も活動を進め、「式典」「記念事業」「記念誌」「募金対策」の各委員会でも熱心にご協議いただいております。

本庄高校が「百年の歴史」を刻むことができたのは、地域の皆様の期待に応える教育活動を展開し、本校を巣立った多くの卒業生が、社会に有意な人材として活躍してこられたからであり、また、地域の皆様に愛され、支援されてきたからだと思います。したがって、母校の「百年の歴史と伝統」は、同窓生の皆さんにとつては極めて「名譽」なことであり、「誇り」である

予定通り民間試験の活用が行われていたら、かなりの混乱があったものと思います。

共通テストの英語の「筆記試験」の問題は、並べ替え問題や発音問題は出題されず、読解問題のみの出題となります。

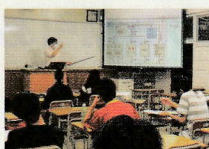
英語民間試験に関しては、共通テストでの活用は見送られました。大学独自の、出願要件にしたり、入試で加点したり、授業料の減免を行ったりは以前から行われていて、今後もさらに活用が広がりそうです。

大学入試改革の三つ目の目玉であった「イーポートフォリオ」(受験生の高校時代の特別活動やボランティア、学習活動、資格取得等を受験生自身がまとめたものを大学がクラウドを通じて直接閲覧できるシステム)も、八月七日文部科学省発表の通り、実施されないことになりました。参加大学が全体の二割程度と非常に少なかったことが原因です。

これで三つの入試改革の目玉は全て行われないこととなりました。

しかし、各大学に対する文部科学省からの通達は今でも生きていますので、受験生の「主体性」を評価する等の取り組みは各大学に求められています。

今年度の各大学の学校推薦型選抜(従来の推薦入試)や総合型選抜(従来のAO入試)の入試要項を見ます



授業の様子



給食の様子

新入生7名を迎え、全校生徒60名でスタートしました。臨時休業で約2か月間家庭での学習が中心となりましたが、六月から学校は再開し、幅広い年代の生徒らは、登校時・授業・給食等において、感染症対策を十分にとりながら落ち着いた学校生活を送っております。また、4年生はこうした状況下においても年度当初より進路活動を継続して行っており、卒業後の進路実現へ向けて毎日励んでおります。

習熟度別に分かれた授業、日本語を苦手としている生徒への日本語教室や個別指導、スクールカウンセラーによるカウンセリング、就職支援アドバイザーによる進路指導、深谷サポーステーションによる支援等、様々な外部機関と連携しながら生徒への教育活動を今後も継続して行っていく予定です。詳しくは本庄高校定時制HPをご覧ください。最新の学校生活状況を随時更新しております。

今後とも定時制へのご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成から令和へ
～在校生の活躍報告～

文武両道！ 本高生の躍進！！

陸上競技部

女子ハンマー投 関東大会 8 位入賞

昨年度の県新人大会において男子の畦地がハンマー投で優勝し、女子の竹花、中兼が2位と4位に入り、畦地と竹花は千葉で開催された関東高等学校選抜新人大会に進出し、畦地は9位、竹花は8位入賞と本庄高校陸上競技部の歴史の中で初の女子による関東大会入賞者となりました。

今年度はコロナ禍の中、多くの大会が自粛され、本庄高校陸上部 41 年ぶりのインターハイ出場が有力でした男女のハンマー投の出場も叶うことができませんでした。先日実施されました全国のリモート大会では、畦地と竹花の全国ランキングがそれぞれ 42 位と 81 位でしたので、競技レベルが全国に近づけたと確信しています。

今年度も北部地区新人大会から2年生を中心にした新チームでのぞんでいます。男子ハンマー投や女子 100m で北部地区優勝し、他の種目も数多く入賞し、県大会への進出を決めております。(結果の詳細については本庄高校のホームページをご覧ください)

今後も本庄高校陸上部の先輩たちが残してくれた輝かし実績に恥じない活動と成績を残すべく、陸上競技に打ち込んでいきます。今後ともご支援よろしくお願いします。



吹奏楽部

令和元年12月16日に第43回アンサンブルコンテスト県大会が久喜総合文化会館にて行われました。全196団体が地区予選で鑄を削り、選ばれた40団体で行われた県大会では、本校から金管5重奏と木管打楽器8重奏の2団体が出場しました。結果は金管5重奏が銅賞、木管打楽器8重奏は金賞を受賞し、大健闘しました。木管打楽器8重奏については、県の代表としても選出され、西関東大会出場の切符も手にすることができました。これは、本庄高校創立以来初となる快挙になります。そして迎えた令和2年2月2日、第25回西関東アンサンブルコンテストが久喜総合文化会館にて行われました。西関東大会は、埼玉県、群馬県、新潟県、山梨県の代表で競われ、上位2団体が全国大会へと進みます。吹奏楽部は、日頃より「響け本高サウンド～心をつなぐもりのある演奏を！」をスローガンに掲げ、練習に励んでいます。当日は、本高サウンドを会場いっぱいに響かせることができました。審査員からは「舞曲の特徴をよく生かした躍動感のある演奏。荘厳さがとても表現されていて、全体のサウンドも豊かです。」とのご講評をいただき、見事銅賞を受賞することができました。これからも感謝の気持ちを忘れず、同窓会の皆様をはじめ、地域に愛される部を目指し頑張っていきたいと思います。



男子バレーボール部

男子バレーボール部は、現在3年生5人、2年生9人、1年生11人、マネージャー4名の計29名で活動しています。日頃から、多くの方に支えていただいておりますことを大変ありがたく思っております。この場を借りて、感謝申し上げます。皆さまに支えられ、我々はすべての大会で県大会出場を果たしてきました。先日行われましたインターハイの代替大会でも、新チームで出場し、県大会出場を果たしました。しかし、我々が目指しているところは、『関東大会』です。7年前の平成25年には、関東大会県予選で、県3位に入り、関東大会に出場しました。しかし、言うまでもなく関東大会の壁は高く、簡単なことではありません。毎年5月に行われる年1回の県予選で6位に入らなければ、関東大会には行けません。そして、その為の戦いはすでに始まっています。

偉大な先輩たちが残してくださった功績に、現役部員も刺激を受け、日々の練習に励んでいます。再び、関東大会のステージに本庄高校の名を轟かせられるよう頑張ります。今後とも、変わらぬご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。



TECHSUS

代表取締役
種村 裕司
(高26卒)

ステンレス運搬機器／保管機器製造

株式会社 テックサス

本 社

〒367-0047 埼玉県本庄市前原2-3-7
TEL0495-21-0738 FAX0495-22-5164

上 里 工 場

〒369-0306 埼玉県川上郡上里町七本木3644
TEL0495-33-5035

第二工場

〒367-0061 埼玉県本庄市小島888-3
TEL0495-71-7945

KTK

電話設備、O A 機器
放送設備、設計・施工・保守

●(社)情報通信設備協会会員 ●沖電気工業(株)特約店

関東通信機株式会社

代表取締役 **森田光春** (昭和58年卒)

熊谷市本町1丁目234番地
☎(048)523-2141(代) FAX(048)522-5556

スポーツを愛する本高生を応援します！ 現役生 & O B 割引あり

キックボクシング
レスリング
サンボ／グラップリング

本庄道場
HONJO-DOJO

フィジカルトレーニング
パーソナルトレーニング
(NATA 公認アスレティックトレーナー提携)

埼玉県本庄市早稲田の杜4丁目1-2

お問い合わせ／見学・体験申込 info@mca.jp / 090-3348-6738 担当：吉澤 昌 (昭和63年卒 [高40回] / 柔道部)

令和元年度の同窓会活動

4月27日から本部役員定例会議を年間8回開催。



毎月、同窓会・P T Aの役員が交代で自学・自習応援のボランティア活動で図書館当番



6月22日 令和元年度定期総会を埼玉グランドホテル本庄で開催

当日は、卒業生で本庄市教育長の勝山勉氏が記念講演を行った。



9月28日 令和元年度第1回支部長会議を母校のセミナー棟で開催



10月31日 同窓会報「第50号 柏陵」22,500部を会員に発行



11月14日 同窓会第3回ゴルフコンペを玉村ゴルフ場で開催



優勝	新島 一英
準優勝	西本 征弘
3位	青木 利夫
女性優勝	真下恵美子

12月21日 奨学金制度奨学生選考委員会議を開催、本年度8名を決定。



1月25日 令和元年度第2回支部長会議を五州園で開催
同窓会新年会を五州園で開催、アトラクションに卒業生の川上葉月さん（高60回卒）出演



3月12日 母校卒業式（新型コロナウイルス感染症対策のため生徒のみで開催）



終身会費納入者名簿

卒業年 氏名(敬称略)

昭和20年 小暮 三郎	昭和40年 森 瑠美子	昭和53年 茂木 富之	平成19年 大谷 正紀
昭和28年 庄田 力	昭和41年 福田 是直	尾熊 浩徳	平成21年 牟田 恵里加
昭和29年 小内 良江	昭和42年 小林 千明	吉岡 功人	平成27年 坪井 宏樹
昭和30年 篠崎 文作	昭和43年 浅見 誠二	吉田 永子	平成28年 島田 学
角谷 高之	敷地 文夫	萩原 美明	平成29年 須賀 健太
高柳 孝行	金子 孝	昭和54年 本間 玲子	丸橋 美裕季
高橋 登子	根本 脩一	磐上 泰和	荒木 真結
昭和31年 福島 百合子	昭和44年 鶴田 利夫	吉田 正夫	平成30年 鈴木 健斗
昭和32年 壁 きよ子	安藤 美代子	昭和56年 萩野 正裕	平成31年 小林 悠
恩田 稔	三田 敬子	新島 一英	大野 椎那
石井 五夫	三田 薫	昭和57年 内田 圭三	小林 海
昭和33年 小暮 利明	昭和45年 斉藤 秀雄	昭和58年 及川 勝義	松田 憲昌
坂上 英夫	昭和46年 小此木 隆治	昭和59年 笠本 小百合	渡部 裕也
剣持 昌信	飯田 文夫	昭和61年 小山 武夫	金子 千恵子
昭和34年 鹿田 富一	昭和47年 皆川 秀一	平成元年 石田 由美	令和2年 山口 快和
森田 紀子	昭和48年 小泉 嘉津美	平成3年 田中 宏	根岸 圭
昭和35年 田島 英治	昭和49年 若林 わか子	平成4年 清水 晴美	内田 翔真
西村 哲哉	飯田 三千代	平成6年 仲 あゆみ	蓮 愛琴
昭和36年 常木 茂	昭和50年 岩田 秀夫	平成6年 林 秋絵	古澤 寛
福島 英彦	萩原 啓一	平成8年 村田 敦志	久慈 しずく
中嶋 林子	峯 三男	平成11年 内海 貴久	金子 采和
齋藤 馨	高橋 和子	平成12年 仲 弘史	樋口 大峨
昭和37年 神谷 美枝	関口 英世	平成14年 内山 侑香	松原 早紀
東 静香	昭和51年 小淵 昌之	平成15年 内海 佐智子	島津 千尋
柴崎 節子	山田 幸一	丸岡 陽子	川島 優貴子
昭和38年 大友 光代	田中 和代	平成16年 牟田 聖史	井上 亜羅多
岡田 英男	黒澤 彰		関端 美咲
栗原 勇	昭和52年 秋元 伸浩		山口 乃愛
昭和39年 福島 文男			栗原 嘉宏
			山口 遥東
			黒田 雄大
			百花 葵

令和2年9月30日までの納入者を掲載しました。
終身会費納入ありがとうございました。

令和元年度 埼玉縣立本庄高等学校 同窓会会計決算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減額
入会金	688,000	684,000	△4,000
終身会費	1,700,000	1,190,000	△510,000
寄付金	50,000	0	△50,000
広告掲載料	100,000	60,000	△40,000
繰入金	1,000,000	3,000,000	2,000,000
雑収入	3,000	19,266	16,266
繰越金	1,036,239	1,036,239	0
合計	4,577,239	5,989,505	1,412,266

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	残額
総会費	100,000	64,823	△35,177
組織編成費	150,000	131,018	△18,982
会報発行費	3,200,000	3,196,900	△3,100
記念品費	344,000	321,974	△22,026
母校助成金	0	100,000	100,000
会議費	50,000	24,768	△25,232
後援費	500,000	290,082	△209,918
事務雑費	150,000	141,976	△8,024
予備費	83,239	0	△83,239
合計	4,577,239	4,271,541	△305,698

I 収入の部合計(5,989,505円)ー支出の部合計(4,271,541円)=
1,717,964円(翌年度へ繰越)

II 令和2年3月31日現在 定期預金残高は5,000,000円(埼玉
りそな銀行定期預金)

III 令和2年3月31日現在 終身会費納入者 6,721名

本庄高等学校奨学金寄付者(令和2年10月現在)

増野武夫(昭和26年卒) 内野昭八郎(昭和27年卒)
奨学金は在校生の育成のために給付させていただきます。

終身会費納入のお願い

(同窓会の運営にご協力ください)

同窓会の基礎財源は終身会費(1万円)です。
この会費は、同窓会の運営のほか現役生徒のクラ
ブ活動や学業支援に活用されています。

同封の振込用紙でゆうちょ銀行窓口でのお振り
込みをお願いします。

加入者名 埼玉県立本庄高等学校同窓会

口座番号 00140-6-694351(ゆうちょ銀行)

●同窓会ホームページ

本高同窓会

検索

●メールアドレス

hakuryo@honko-dosokai.jp

●Facebook

柏陵会(埼玉縣立本庄高等学校同窓会)

検索

同窓会新年懇親会のご案内

日時 令和3年1月30日(土)午後5時

会場 五洲園 本庄駅北口徒歩15分

会費 6千円

※お申込みは葉書、TEL070-1370-2257、

またはHP <http://honko-dosokai.jp/>で12月25日(金)まで
にお申込みください。

令和3年同窓会定期総会開催日程

日時 令和3年6月26日(土) [日程] 午後3時:記念講演会

場所 五洲園 午後4時:総会

午後5時:懇親会

同窓会は
伝統ある五洲園の
おいしいお料理で!!

総合宴会場



五洲園

常務取締役 赤岩迪子

(昭和37年卒・高14回)

支配人 志塚照義

(平成2年卒・高42回)

五洲園グループ

相談役 萩原達夫

(昭和45年卒・高22回)

ご宴会ご予約専用ダイヤル

TEL.0495-22-5225

受付時間 AM10:00~PM6:00

〒367-0021 埼玉県本庄市東台4-2-5

GOSHUEN グループ/アメイジンググレイス本庄、アメイジンググレイス前橋
五洲園、五洲園ケータリング事業部

忘・新年会
ご予約受付中

